


様式第2号(第9条関係)

会議録

会議の名称	令和4年度第4回文化振興審議会			
開催日時	令和4年10月28日(金) 開会時刻 午後5時30分 閉会時刻 午後7時30分			
開催場所	ふじみ野市ステラ・イートスミーティングルームC			
出席した者の氏名	役職名	氏名	役職名	氏名
	会長	伊藤 裕夫	副会長	進藤美奈子
	委員	岡本 雄司	委員	古田土勝市
	委員	福田眞智子	委員	小林葉津子
	委員	尾澤 景子	委員	田中 義則
	委員		委員	
会議の議題	(1) 第2期ふじみ野市文化振興計画素案審議 (4) その他			
会議の公開又は非公開の別	公開			
会議の非公開の理由				
傍聴人の数	0人			
発言の内容	別紙「発言の要旨」のとおり			
会議資料	別添のとおり			
事務局	市民活動推進部 文化・スポーツ振興課			
議事の確定	確定年月日	令和4年11月25日		
	記名押印	役職名 会長 伊藤 裕夫 		

(会議の経過)

発言者	議 題 ・ 発言内容 ・ 決定事項
文化・スポーツ 振興課長	あいさつ
伊藤会長	指定管理者のプレゼンテーションがありました。委員会での選定では相当議論しましたが、これといった決め手がありませんでしたが、1位の企業は、市民活動をわかっている業者となっています。本日の議題について、選定結果の公表がされていないため、指定管理者のことは外してもらいました。計画の実効性を高めるために本日は計画内容の協議に集中します。事務局は基本方針ごとに説明をしてください。
事務局	本日は、全体の説明をしますが、中でも第4章の1と2について議論をしていただきたいと思います。第1章はコンパクトにし、計画の位置づけ等を記載しています。第2章は市民の方が読みやすいように16頁に課題やアンケートをまとめました。
伊藤会長	前回の確認として第1章、第2章の取組みについて、課題については、第3章、第4章の議論が終わったら確認をしたいと思います。
尾澤委員	39頁にある「有機的連携」の説明をしてください。38頁については「している」と断言しないほうがいい。「アーティスト」という言葉は、文言として漠然としていると思います。
事務局	「有機的連携」は、今まで施設ごとに取り組みや情報が分断されていたものを、施設間の連携をとっていくこと意味します。このような言葉には注釈など説明を入れていきます。またわかりにくいようなら、言葉を変えていきます。
尾澤委員	「つながり」でもいいと思います。
伊藤会長	アーティストという言葉は様々なものが内包されており、アートの分野でも表現を担う人たちは、不満を持っているようすが。
事務局	アーティストには、音楽や絵だけではなく書道なども含まれ、音楽分野や美術の分野、それぞれに感じ方は異なるようです。
小林委員	一人ひとりに文書を配るときは、熟慮に熟慮を重ねてもらいたいです。
伊藤会長	アーティストが全体をとらえられる言葉としてとらえられれば

発言者	議 題 ・ 発言内容 ・ 決定事項
	いいが、アーティストには美術家、音楽家などの他、職人的な技術を持つ人と2つの意味、側面があります。
尾澤委員	携わっている人がアーティストなら良いと思います。
伊藤会長	表現・考え方について、「公民館機能」をいかに残していくのかなどご意見をお願いしたい。
尾澤委員	「公民館機能」について盛り込んでいても、アーティストと障がい者、文化施設について記述がないのではないかと思います。
事務局	37頁の取組みの4つ目に入れていますが、わかりにくいので文章中に入れていきます。
進藤副会長	公民館のミュージックフェスタに参加しました。若者がいない、活気がない、マナーが悪いなど感じました。市民性も育てていかないといけないと思います。公民館を一新できたら変わるのでしょうか。公民館活動の活性化もあるでしょうが、いろいろな面で古い体質、何も楽しめない、参加しづらいなど課題があります。いろいろな団体が頑張っていけるように、自由にもっとのびのびできるとよいと思います。
事務局	文化祭は教育委員会が担当しており、事業などでもいろいろ調整していく必要があると考えています。
進藤副会長	イベント名を変えるところから始めたらどうでしょうか。
事務局	文化協会のような組織が手掛けていけるようになれば。文化協会の立ち上げについてもご意見をいただきたい。
尾澤委員	「多様なそういう、地域差や年齢を取り払って」、を入れて、「方向性としてやっていく」、と盛り込むとよいと思います。
小林委員	活動自体が昔から住んでいる人が中心で、新しい人は入りにくい状況があります。
進藤副会長	今が変われるチャンスだと思います。
伊藤会長	昔からあるものの名称を変えるのは難しいのである程度はしょうがないと思います。文化協会という名称は古いイメージがあります。文化を通じてのネットワーク。文化協会に似た組織など、逗子ネットワークに関わっていますが、一部では予算のこ

発言者	議 題 ・ 発言内容 ・ 決定事項
事務局	<p>とも必要です。両方うまくいくように中心となる人物が重要になります。所管はどこになるのですか。</p> <p>文化祭の所管は教育委員会です。文化事業と公民館活動は分かれています。</p>
福田委員	<p>公民館活動は市民の活動の基礎を作っています。地域のつながり、包摂の上に文化が乗っかってきた。捉えなおすとともに、文化活動が基礎になっていることを示すべきだと思います。</p> <p>38頁の社会的包摂について、イメージを拾い集める項目があってもいいのでは。文化は独り歩きではできない。人と人とのつながりの中でできる。個人のアーティストが創造活動に取り組んでいる、そういったことを踏まえて、考えてもらいたい。</p>
事務局	<p>第1期文化振興計画策定の時は、ふじみ野市の文化を担ってきた公民館活動について記述していました。今回、落ちていますので、12・13頁の文化施設についての考え方には公民館活動が土台になっていることを加えるなど、見える形に出していきます。39頁について。文化芸術へアプローチしづらい人が参加しやすいように入れました。障がいがある人と連携することで両方が見ることができて良いのではと思います。</p>
福田委員	<p>特別視をするのではなく、当たり前のように。昔は入れないといけなかった。</p>
事務局	<p>障がいの有無にかかわらず一緒にできたらいいが、できていないのが現状です。</p>
福田委員	<p>12月の障がい者週間にふれあい広場を企画しています。</p>
田中委員	<p>文京学院大学の学生たちと一緒にボッチャをやりました。学生の中には、車いすの人がいました。その人がリーダーとなってボッチャを楽しみました。非常に良かったと思います。</p>
福田委員	<p>そういった取り組みが広がっています。</p>
田中委員	<p>取組みをいっぱいあげがちだが、実効性はどうなのですか。</p>
事務局	<p>基本方針1の36頁や40頁などには、抽象的な内容が書いてあります。例えば、実際に行っている事業名を具体的にまとめることもできます。今は、抽象的な書き方で示しています。</p>
伊藤会長	<p>多様な文化、子どもから高齢者まで、あらゆる人が交流してい</p>

発言者	議 題 ・ 発言内容 ・ 決定事項
	くことの明記を。メリハリをつけて、明確に。基本方針2について説明をお願いします。
事務局	第1期計画では4「地域文化の次世代への継承」で文化財保護などを章立てていたが、今回は基本方針2に入れ込みました。書きぶりが少ないかもしれませんが、アートとコラボしていくことで相乗効果を創るという視点で書いています。文化財に対する課題もありますが、この計画の中で取り上げていくのかどうか、ご意見をいただきたいところです。
伊藤会長	ほとんどが継続の事業。基本方針1と関連するが体系を見ても何が重点なのかがわからない。中項目に重点等があった方がいいのでは。メリハリがほしい。
尾澤委員	43頁の地域と15頁の自然環境はつながっています。項目は増やせないのですか。アウトリーチ環境は、43頁(2)に盛り込んでもいいのではないかと思います。
小林委員	取組内容についてあれもこれもいいねは出てくるが、核となるものがないと思います。目指すものが出てこない、伝わりにくいのではないのでしょうか。これを目指していこう的なものが見つかると思います。
古田土委員	アートフェスタについて、参加人数が少ない。屋外でもできたら。
尾澤委員	通りがかった人も参加につながります。
伊藤会長	第1期計画策定でも屋外について議論をしたが、屋内に閉じ込もっていることが気になりました。
事務局	文化資源、モノの資源、人の資源。どういう風に感じるか。
尾澤委員	場所、モノ、人それを資源というのかは如何か、人によって感じ方が違います。
古田土委員	ダンス、演劇。そういう人を育てるのも重要だと思います。
事務局	実際に人も資源であらわすこともあります。資源のイメージについて、注釈を入れるなど工夫をします。地域力で置き換えることも検討します。
伊藤会長	資源とする言葉が多いが、抵抗も多い。なんでもお金に置き換

発言者	議 題 ・ 発言内容 ・ 決定事項
	える。文化資源、地域資源として「祭、自然環境」など、うまくまとめてください。注を付けるのがいいでしょう。
岡本委員	最終的にまとめるのはいつ頃ですか。
事務局	年明けにパブリックコメントを行います。
岡本委員	この計画書自体を見ることになるのですか。
事務局	市民の方々には、市のホームページや窓口で報告書を見ていただきます。
伊藤会長	市役所では発見するのが難しい。スポーツはわかりやすいが、文化はわかりづらい。知られるようにはなってきたが。
尾澤委員	アート発見・発信は、編集員のロコミで記事を書いてきました。こういう人がいるという情報を掲示板に書き込めるようにしています。線引きは難しい。ただ情報を集めるだけでなく、質も重要。
岡本委員	富士見市の広報の裏面では、そういう人を紹介しています。
事務局	スポーツで活躍している人は発見しやすいが、文化はなかなかわかりません。応援したいと思っています。
尾澤委員	ママ友の情報力はすごい。それを吸い上げる何かがあれば。
事務局	賞を取っていても、アーティストはそれを公表しないことが多いです。
進藤副会長	それだけではなくスポーツみたいに賞は多くないです。
岡本委員	SNSをやっている人は多く、挙げている人も多いが、正式な形での発表は少ない。
進藤副会長	行政に何かを求めているわけではない。
尾澤委員	タグをつけるだけの意味、価値はわからない。何かあるのか。
進藤副会長	タグを入れたことのメリット、逆吸い上げなどでしょうか。
岡本委員	手続きが大変そうとなってしまうそうですね。

発言者	議 題 ・ 発言内容 ・ 決定事項
進藤副会長	手続きは、結構大変です。
尾澤委員	手間を嫌がる傾向があります。
伊藤会長	44頁、45頁の書き方が堅いような気がします。
尾澤委員	FMラジオはやらないのですか。
事務局	45頁については、CATVと書いています。 44、45頁については、おせっかいな人を求めている。役所の情報発信は限られている。活性化するにはどのようにしたら良いのか。SNSを細かくチェックするしかないのか。
事務局	フェイスブックへの登録は多いですね。
尾澤委員	使わない人はどうしているのですか。
進藤副会長	おせっかいおばさんなどの人的情報源もあります。
事務局	文化施設についてまとめて作り直します。
岡本委員	人材バンクについてはどうですか。
事務局	生涯学習分野でガイドブックにまとめています。スポーツでは人材バンクを作る予定です。文化も必要かどうか検討します。
伊藤会長	そういう発想が、行政的です。あるアーティストが得意バンクを作り、交流をしている。アーティストの発想は結構面白い。アイデアをもらってもいいのでは。基本方針2に関していうと、人間、人的資源が入ってくればよいと思います。施策の方向性2は行政っぽくならないように。基本方針3について簡単に意見出しをお願いします。
事務局	48頁小・中学生、音楽系、アート系と特定することはいかがでしょうか。49頁にはネットワークの件を位置付けています。もう少し幅広く声をかけられたらいいと思います。
伊藤会長	アートという言葉の範囲は狭いですね。
小林委員	子どもの頃に鑑賞した文楽を覚えています。子どもたちにそういったチャンスがたくさんあればいいと思います。
福田委員	そういうのと合わせて、学校を離れた地域でできる文化的環境

発言者	議 題 ・ 発言内容 ・ 決定事項
	が大切だと思います。50頁の地域でできること、子どもたちにどう伝えていくのか。そういう地域にしてみたい。
尾澤委員	息子がある劇の日本語版を見た。本場の言葉に興味がない。選択の幅が狭くなる。
福田委員	与えることで選択できる。地域でできることは地域だが、良いと思います。
事務局	地域協働学校や部活動の地域移行について話も出てきています。
尾澤委員	学校との間に立つ精通した人、連携を取れる人が必要ですね。
進藤副会長	学校で地域応援団をやっている人がいますが、とても素晴らしい。
事務局	進藤副会長にアウトリーチのコーディネーターをやってもらっています。そういう人を増やしていく必要があります。アーティストの活用を考えていきたいと思います。学校にコーディネーターは、1人は必要と考えます。
田中委員	この間、任命式がありました。
尾澤委員	指定管理者とどう関連していくのか。
事務局	指定管理者に事業が移っても、注視していきます。
伊藤会長	連携のネットワークでは、文化協会は団体加盟だけではなく、個人加盟もできると良いと思います。
事務局	三芳町の文化協会は、文化と音楽が並列になっています。
進藤副会長	合唱をやっている人の集まりなのでは。
伊藤会長	文化協会、音楽協会などには補助金が出ます。
事務局	49頁、支える人を支えるサポーターなど応援していただく。
福田委員	ステラ・イーストホールを世界に発信できる、演奏したいと思えるホールに特化するのはどうでしょうか。誰にでもよいホールでは、高まっていかない。

発言者	議 題 ・ 発言内容 ・ 決定事項
進藤副会長	音楽家は最近、小川町などに移っているようです。
岡本委員	陶芸家などは越生町に増えていると聞きます。
古田土委員	第1期の取り巻く現状と課題、東と西の役割。東の方は外に向けてという方向を出している。両方とも、包括的なホールを目指している。以前とイメージが変わってきている。対抗のような。別世界に行けるホールを想像していた。外から人が呼べるホールのようにできると良いと思います。
事務局	性能に差はありません。書き方を工夫します。
福田委員	話はずれですが、劇と音楽をやるのとではホールも異なります。
事務局	建物を作ることも大事ですが、ホールを使って人材を育成していくこと。計画はそこを重視しています。そこで、何をやるのかも。
尾澤委員	まとめる際に、わかりやすく書けばいいと思います。書き方の問題ではないでしょうか。
伊藤会長	ホールと文化施設はきりが無い。公民館的機能を持つ施設になります。もう一度チェックして、第1章に戻りたいと思います。
岡本委員	計画書の写真は、誰が撮影したものなのか。
事務局	事務局が撮影しています。掲載するものについては、次回決めてもらいます。
岡本委員	掲載するのはいいが、時間の経過により、古くなってしまう。写真が暗く、レイアウトもよくない。プロが撮影した写真で構成したほうが良いと思います。
事務局	今後は、指定管理者が担っていくことになるでしょう。
伊藤会長	熊谷市ではNPOが作っていたりします。そういったパワーのある人がふじみ野市にも出てくると良いと思います。
事務局	次回は12月上旬に開催していく予定です。
	閉会